

慢性痛  
急性痛

香曾我部義則先生の今月のカルテ vol.112

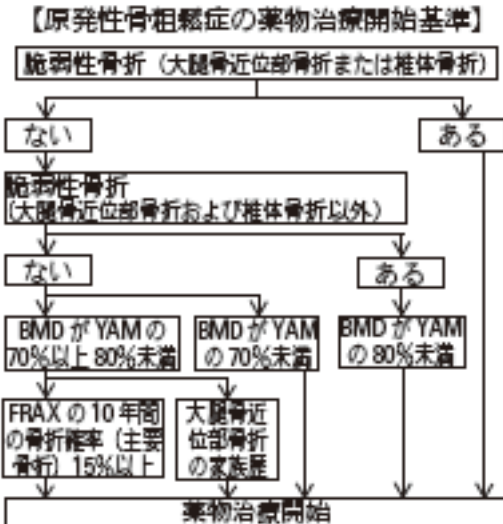
ペインクリニックの現場から



■プロフィール こうそがべ・よしのり  
昭和 54 年に岡山大学医学部卒業後、  
同大学麻酔科・蘇生科講師、岡山労災  
病院麻酔科第一部長に。平成 16 年か  
ら現職。日本麻酔学会指導医。日本ペ  
インクリニック学会認定医。現在日本  
麻酔学会、日本ペインクリニック学会、  
日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会など  
に所属

梶木病院麻酔科・ペインクリニック科の香曾我部義則先生と藤井洋  
泉先生が、痛みの治療や緩和についての情報を届けてくれる「ペイン  
クリニックの現場から」。前号に続き「骨粗鬆(しょう)症」をテーマに、  
香曾我部先生が治療の開始基準について話をしてくれます。

骨密度(BMD)チェックや骨密度測定の結果は  
いかがでしたか。  
骨粗鬆症の診断基準  
は、骨密度と既存骨折の  
有無で行います。治療が  
必要かどうかは、この2  
つ以外の骨折危険因子を  
考慮した骨折のリスク評  
価が必要です。2011  
年度骨粗鬆症ガイドライ  
ンにおいて薬物治療開始  
基準が見直され、12年、  
13年と、さらに改定が行  
われています。  
骨粗鬆症には原発性と  
続発性があります。続発  
性椎体炎、その他(糖尿  
ゆよう)の骨転移や多発  
性骨髄腫、化膿(かのう)  
性骨髄炎、(けい)骨粗  
鬆症、甲状腺機能亢  
進症など、薬物性(ス  
teroid)性骨粗鬆症、栄  
養障害(こう)骨粗鬆症、  
内分泌性骨粗鬆症(内  
分泌性骨粗鬆症は病  
気(びょう)気)



(※) カットオフ値とは、基準個体の計測値の中央値を含む95%が含まれる範囲を基本とし、これに各検査項目の特性を考慮したうえで正常とみなす範囲を決め、この範囲を区切る値

病、間接リウマチなど) 療開始基準は図の通り。  
が挙げられます。これら 閉経後の女性、あるいは  
を除いたものが原発性骨 50歳以上の男性が対象の  
粗鬆症です。 治療基準です。

骨粗鬆症検診では、骨  
量測定結果は「要精検」  
「要指導」「異常なし」に  
選別判定が行われます。  
診断では骨密度が若年成  
人平均(young adult  
mean・YAM)値の70%未  
骨粗鬆症としているのに  
対し、検診ではYAM値  
の80%未満を要精検と  
しています。

骨粗鬆症の治療目的  
は、骨粗鬆症性骨折の抑  
制、QOLの維持・向上  
で、薬物治療が基本です。  
薬物治療は、骨粗鬆症  
者だけでなく、骨折リス  
クが骨粗鬆症患者と同等  
であれば薬物療法を行う  
べきとの考えです。薬物治  
療 086(29

原発性骨粗鬆症の治療目的は、骨折の抑制、QOLの維持・向上  
骨粗鬆症患者と骨折リスクが同等であれば薬物治療を行うべき

お答えは、梶木病院北  
区西花尻)の香曾我部先  
生です。 ☎086(29